

# 第68回日本体力医学会大会のご案内（第1報）

第68回日本体力医学会大会“健やかに生きる～康寧を求めて～”をテーマに下記の通り東京都千代田区において開催致します。全国からの多くの皆様のご参加を心からお待ち致しております。

なお、学会の最新情報は第68回大会ホームページ（<http://gakkai.co.jp/tairyoku68/>）をご覧ください。

1. テー マ：健やかに生きる～康寧を求めて～
2. 会 期：平成25年9月21日(土)，22日(日)，23日(月・祝)
3. 会 場：日本教育会館・学術総合センター
4. 大 会 長：栗原 敏（東京慈恵会医科大学・学長）
5. 副 大 会 長：勝村 俊仁（東京医科大学）・鈴木 政登（東京慈恵会医科大学）
6. 大会事務局：東京慈恵会医科大学・分子生理学講座  
第68回日本体力医学会事務局  
事務局長・実行委員長 竹森 重（東京慈恵会医科大学）  
〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8  
TEL：03-5400-1200（内線2216）  
FAX：03-3431-3827  
E-mail：tairyoku68@jikei.ac.jp  
運営事務局：株式会社 学会サービス 担当 中本 明  
〒150-0002 東京都渋谷区鶯谷7-6-101  
TEL：03-3496-6590  
FAX：03-3496-2150  
E-mail：tairyoku68@gakkai.co.jp

## 7. 大会概要

高齢社会になった日本の現状を考え，“健やかに生きる～康寧を求めて～”を大会の主題にしました。大会プログラムでは、特に、(1)高齢者から競技選手にいたるまでの体力、(2)栄養、(3)疲労の問題を中心として取り上げたいと考えています。高齢社会の日本では、高齢者の運動能力が社会的な問題になっています。また、疾病予防のための運動に関する最新の知見は、国民の健康の維持・増進に直接貢献できます。さらに、人間が健康的な日常生活を送り疾病を予防するためには、栄養の問題が重要です。東京慈恵会医科大学の創立者、高木兼寛が明治時代、脚気の発症に食物の栄養素が関係していることを指摘し、これがビタミンB<sub>1</sub>発見の端緒となったことを踏まえて、栄養について考えます。さらに、身体的、精神的な疲労は近年一層社会の注目を集めています。疲労の原因物質が明らかになりつつある中で、新たな視点で疲労を考えてみたいと思います。

注1) シンポジウムの構成は第2報でお知らせ致します。

注2) 一般研究発表は口演です。

注3) 学会大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は学会員でなくても構いません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。